


# CASBEE®-建築(新築)

## 評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 使用評価シート: CASBEE-BD\_NC.2016v2.1

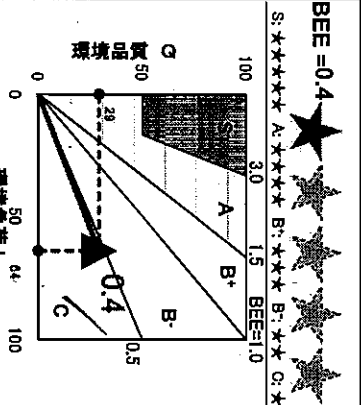
1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	湘アツツシヨクロスバルス工場	階数	地上3F
建設地	埼玉県河生市大字下羽生字岸町10	構造	S造
用途地域	市街化調整地域、指定なし	平均居住人員	80人
地域区分	5地域	年間使用時間	1,920時間/年(法定)
建物用途	事務所・工場	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2019年12月	評価の実施日	2019年3月22日
敷地面積	16,513㎡	作成者	高橋 修
建築面積	3,382㎡	確認日	2019年3月25日
延床面積	9,946㎡	確認者	高橋 修
			

**2-1 建築物の環境効率(BEE)ラック&チャート** **2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>温暖化影響チャート** **2-3 大項目の評価(レーダーチャート)**

**BEE = 0.4** ★★★★★

S:★★★★★ A:★★★★★ B:★★★★★ B+:★★★★★ C:★★★★★

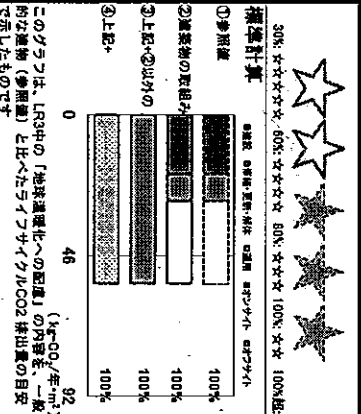
BEE=1.0



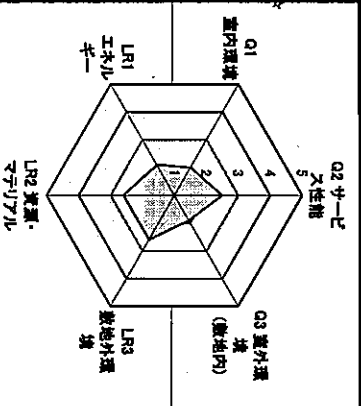
標準計算  
30% ★★★★★交、60% ★★★★★交、80% ★★★★★交、100% ★★★★★交、100% 超★

① 参照値  
② 建築物の夏期冷  
③ 上段+②以外の  
④ 上段+

このグラフは、LR9中の「地球温暖化への回避」の回避量の削減率(削減率)と削減率をライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安としたものです。



Q1 室内環境  
Q2 サービエ性能  
Q3 室外環境(敷地内)



**2-4 中項目の評価(バーチャート)**

**Q1 室内環境** Q1のスコア= 20

1	5
2	21
3	1.1
4	2.8
5	2.8

音環境 熱環境 光環境 空気環境

**Q2 サービエ性能** Q2のスコア= 25

1	5
2	2.0
3	2.9
4	3.1
5	

機能性 耐用性 対応性

**Q3 室外環境(敷地内)** Q3のスコア= 19

1	5
2	1.0
3	3.0
4	
5	1.5

生物環境 まちなみ 地域性

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア= 24

LR1 エネルギー LR1のスコア= 21

1	5
2	
3	
4	
5	

建物外皮の 自然エネルギー 設備システム 効率的

LR2 資源・マテリアル LR2のスコア= 26

1	5
2	2.1
3	2.9
4	3.1
5	

水資源 非再生材料の 汚染物質

LR3 敷地外環境 LR3のスコア= 26

1	5
2	3.0
3	2.1
4	2.4
5	2.4

地球温暖化 地域環境 周辺環境

**3 設計上の配慮事項**

調査 工務従員の作業が快適に行われ、効率よく作業が進む様に配慮。

**Q1 室内環境** Q1のスコア= 20

従業者が快適に作業が出来る様に工場部分に空間設備を配置。

**Q2 サービエ性能** Q2のスコア= 25

工事のための特に配慮はなし。

**Q3 室外環境(敷地内)** Q3のスコア= 19

敷地内でシステム一至トラツク・従業者の通勤に関して助産を配慮。  
緑地を確保するために駐車場は緑地駐車場とする。

**LR 環境負荷低減性** LRのスコア= 24

省エネに配慮した建築の選定。

**その他** 特になし

できる限り周辺に影響がないように、設備機器の配置を行った。

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEI: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ ライフサイクルCO<sub>2</sub>とは、建築物の部材生産・建設から運用・改修・解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2, LR1, LR2中の建築物の部材、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

CASBEE-建築(新築)2016年版  
 環境パフォーマンススコアシステム

欄に数値またはコメントを記入

■使用評価フォーマット CASBEE-建築(新築)2016年版  
 ■評価シート: CASBEE-BD\_NC\_2016(v2.1)

スコアシート 実施設計段階

評価項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点		重み係数		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>0 建築物の環境品質</b>						
<b>01 室内環境</b>			0.30			2.1
<b>1 音環境</b>						
1.1 室内騒音レベル		2.1	0.15			2.1
1.2 遮音		3.0	0.40			
1	開口部遮音性能	1.8	0.40			
2	昇降遮音性能	1.0	0.50			
3	昇床遮音性能(軽量衝撃源)	3.0	0.40			
4	昇床遮音性能(重量衝撃源)		-			
1.3 吸音		1.0	0.20			
<b>2 温熱環境</b>						
<b>2.1 室温制御</b>						
1	室温	1.1	0.35			1.1
2	外皮性能	1.3	0.50			
3	ゾーン別制御性能	2.0	0.38			
<b>2.2 湿度制御</b>						
1	湿度	1.0	0.25			
<b>2.3 空調方式</b>						
1	湿度	1.0	0.38			
<b>3 光・視環境</b>						
<b>3.1 屋光利用</b>						
1	屋光率	1.8	0.30			2.6
2	方位別開口	1.0	0.60			
3	屋光利用数値	3.0	-			
<b>3.2 グレイド対策</b>						
1	屋光制御	3.0	0.30			0.40
<b>3.3 照度</b>						
1	照度	3.0	1.00			3.0
<b>3.4 照明制御</b>						
1	照度	3.0	0.15			3.0
<b>4 空気環境</b>						
<b>4.1 発生源対策</b>						
1	化学汚染物質	2.8	0.25			2.8
<b>4.2 換気</b>						
1	換気量	3.0	0.30			3.0
2	自然換気性能	3.0	0.33			3.0
3	取り入れ外気への配慮	3.0	0.33			3.0
<b>4.3 運用管理</b>						
1	CO <sub>2</sub> の監視	2.0	0.20			2.0
2	喫煙の制御	1.0	0.50			1.0
<b>02 サードスペース</b>						
<b>1 機能性</b>						
<b>1.1 機能性・使いやすさ</b>						
1	広さ・収容性	2.0	0.40			2.0
2	広さ・収納性	1.6	0.40			
3	高度情報通信設備対応	3.0	0.33			3.0
3	AV/AVプロ計画	1.0	0.33			1.0
<b>1.2 心理性・快適性</b>						
1	広さ感・景観	2.0	0.30			2.0
2	リノヴェジユススペース	3.0	0.33			3.0
3	内装計画	2.0	0.33			2.0
<b>1.3 維持管理</b>						
1	維持管理に配慮した設計	2.5	0.30			2.5
2	維持管理用機能の確保	3.0	0.50			3.0
<b>2 耐用性・信頼性</b>						
<b>2.1 耐震・免震・制震・制振</b>						
1	耐震性(建築物のこわれにくさ)	3.0	0.50			3.0
2	免震・制震・制振性能	3.0	1.00			3.0
<b>2.2 部品・部材の耐用年数</b>						
1	躯体材料の耐用年数	2.8	0.30			2.8
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	3.0	0.20			3.0
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	2.0	0.20			2.0
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	3.0	0.10			3.0
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	3.0	0.10			3.0
6	主要設備機器の更新必要間隔	3.0	0.20			3.0
<b>2.4 信頼性</b>						
1	空調・換気設備	1.4	0.20			1.4
2	給排水・衛生設備	1.0	0.20			1.0
3	電気設備	1.0	0.20			1.0
4	機械・配管支持方法	3.0	0.20			3.0
5	通信・情報設備	1.0	0.20			1.0

3 対気性・更新性	3.1 空間のゆとり	3.1 1 階高のゆとり	3.4	0.30	-	3.1
		2 空間の形状・自由度	3.0	0.60	-	
	3.2 荷重のゆとり	3.0	4.0	0.40	-	2.6
		3.0	3.0	0.30	-	
		3.0	3.0	0.30	-	
	3.3 設備の更新性	1 空調配管の更新性	3.0	0.40	-	2.4
		2 給排水管の更新性	3.0	0.20	-	
		3 電気配線の更新性	3.0	0.10	-	
		4 通信配線の更新性	3.0	0.10	-	
		5 設備機器の更新性	3.0	0.20	-	
6 バッテリシステムへの確保		3.0	0.20	-		
<b>CO3 省エネルギー(省エネルギー)</b>						
CO3 省エネルギー(省エネルギー)	1 生物環境の保全と創出	1.0	0.30	-	1.9	
	2 宅間・農地・森林への配慮	3.0	0.40	-		
	3 地域性・コミュニティへの配慮	1.5	0.30	-		
	3.1 地域性への配慮、快適性の向上	1.0	0.50	-		
3.2 敷地内温暖環境の向上	2.0	0.50	-			
<b>ER 建築物の環境負荷低減性</b>						
<b>ER1 省エネルギー</b>						
ER1 省エネルギー	1 建物外皮の熱負荷抑制	1 自然エネルギー利用	3.0	0.13	-	3.0
		2 設備システムの高効率化	2.0	0.53	-	
		3 設備システムの高効率化	2.0	0.25	-	
	4 効率的運用	集合住宅以外の評価	2.0	1.00	-	2.0
		4.1 モニタリング	-	-	-	
		4.2 運用管理体制	2.0	1.00	-	
		集合住宅の評価	-	-	-	
	4.1 モニタリング	-	-	-	-	
	4.2 運用管理体制	-	-	-	-	
	<b>ER2 資源・エネルギーリサイクル</b>					
ER2 資源・エネルギーリサイクル	1 水資源保護	1.1 節水	2.2	0.20	-	2.6
		1.2 雨水利用・雑排水等の利用	1.0	0.40	-	
	2 非再生性資源の使用量削減	1 雨水利用システム導入の有無	3.0	0.60	-	2.2
		2 雑排水等利用システム導入の有無	3.0	0.70	-	
		2.1 材料使用量の削減	3.0	0.30	-	
		2.2 既存建築躯体等の継続使用	2.5	0.60	-	
		2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用	3.0	0.20	-	
		2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用	3.0	0.20	-	
	2.5 持続可能な森林から産出された木材	1.0	0.20	-		
	2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	2.0	0.10	-		
3 汚染物質含有材料の使用回避	3.0	0.20	-	3.6		
3.1 有害物質を含まない材料の使用	3.6	0.20	-			
3.2 フロント・パロンの回避	5.0	0.30	-			
3.1 有害物質を含まない材料の使用	1 消火剤	3.0	0.70	-	2.6	
	2 発泡剤(断熱材等)	-	-	-		
	3 冷媒	-	-	-		
<b>ER3 敷地外環境</b>						
ER3 敷地外環境	1 地球温暖化への配慮	CO2排出量の抑制	3.0	0.33	-	2.6
		CO2排出量の抑制	3.0	0.33	-	
	2 地球環境への配慮	2.1 大気汚染防止	2.4	0.33	-	2.4
		2.2 温暖環境悪化の改善	3.0	0.25	-	
		2.3 地域インフラへの負荷抑制	2.0	0.50	-	
	2.1 大気汚染防止	1 雨水排水負荷低減	2.7	0.25	-	2.4
		2 汚水処理負荷抑制	3.0	0.25	-	
		3 交通負荷抑制	3.0	0.25	-	
		4 廃棄物処理負荷抑制	3.0	0.25	-	
	3 周辺環境への配慮	3.1 騒音・振動・悪臭の防止	2.0	0.25	-	2.4
3.0			0.25	-		
3.0			0.25	-		
3.2 風害・砂塵、日照障害の抑制		1 風害の抑制	2.0	0.40	-	2.4
		2 砂塵の抑制	2.0	0.70	-	
		3 日照障害の抑制	3.0	0.30	-	
3.3 光害の抑制	1 昼間の建物及び屋内照明の光害による近接光(グレア)への対策	1.6	0.20	-	2.4	
	2 屋外の建物外壁による近接光(グレア)への対策	1.0	0.70	-		
2	3.0	0.30	-	-		

# CASBEE埼玉県 重点項目シート

■使用評価ソフトウェアバージョン











CASBEE埼玉県2015年版

## 1 建物概要

建物名称	㈱フアツシヨシクロスナルシマ工場	BEE	0.4	BEEラック	★
------	------------------	-----	-----	--------	---

## 2 重点項目の評価

ライフサイクルCO2の削減のスコア	緑の保全・創出のスコア			
3.0	+	1.6	=	4.6
				

重点項目の各スコアの合計点				
かんばろう 6.0未満	良い 6.0以上	非常に良い 6.8以上	すばらしい 8.0以上	
	 	  	   	

## 3 重点項目についての環境配慮概要

### (1) ライフサイクルCO2の削減

スコア平均 3.0

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

LR3 敷地外環境対策	1. 地球温暖化への配慮	スコア	3.0
-------------	--------------	-----	-----

### (2) 緑の保全・創出

スコア平均 1.6

<CASBEE埼玉県の対応する配慮項目とスコア>

Q3 室外環境(敷地内)	1. 生物環境の保全と創出	スコア	1.0
Q3 室外環境(敷地内)	3. 2 敷地内温熱環境の向上	スコア	2.0
LR3 敷地外環境	2. 2 温熱環境悪化の改善	スコア	2.0

<配慮した内容を記述> ・工場立地法に基づき敷地の25%以上の緑化。

: 入力欄